

A-104 貧血に関する研究 (第1報)
米の鉄の利用について

岩手大教育 ○及川 桂子
赤沢 典子
鷹觜 テル

1. 近年、農村婦人および都市の献血者に貧血者が増加していることが報告されているが、鉄摂取量の多くを穀類および豆類の鉄すなわちフィチン態鉄に依存している日本人の場合穀類の鉄の利用に関して一考を要すると考えられる。そこでわれわれが主食としている白米について、その鉄の利用およびフィチン態鉄の吸収をよくする腸内フィターゼ生成に関係すると思われる卵白の影響を調べた。

2. 実験には離乳直後のシロネズミを用い、鉄を除いた飼料で飼育し、貧血状態になったとき5群に分け、基礎飼料として白米78%、鉄を除いた無機塩3.9%に脂肪、ビタミンを加えた対照群と、これに卵白を3%、6%、12%、および卵白12%に鉄を添加した試験群を用い、血中Hb、血中SH基、および腸内フィターゼを測定して貧血の回復状態を観察し、次の2,3の成績を得たので報告する。

3. (1)白米に卵白を添加すると鉄の吸収が増し血色素量が増加した。

(2)少量の無機鉄を与えることにより血色素量が非常に

増加した。

(3)鉄の吸収が増し血色素量が増加するに伴い、血中SH基も増加の傾向にあった。